

# H23 年漁期のあかいか（ソデイカ）漁業について

今漁期(H23 年漁期)のあかいか(ソデイカ)漁業について取りまとめましたので、お知らせします。

## 1 平成 23 年漁期の漁況

### 【兵庫県下各漁協(支所)の漁獲】

平成 23 年 (2011 年) の漁獲量 (速報値) は、但馬漁協津居山支所 6.6 トン (2010 年は 13.0 トン)、竹野支所 4.6 トン (同 15.2 トン)、柴山支所 7.9 トン (同 16.2 トン)、香住本所 14.4 トン (同 46.7 トン)、浜坂漁協 2.0 トン (同 22.7 トン)、**合計 35.4 トン (同 114.2 トン)** となり、**最近 5 か年の約半分と低調であった前年と比較しても、31%**と極めて低調な水揚げとなりました (図 1)。

今漁期、漁獲量が減少した要因として、① 沖縄周辺海域においても極端な不漁であったことから、日本周辺海域のソデイカ資源水準自体が低かったこと、② 加えて日本海への来遊量も少なかったこと、③ 好漁が続いたシロイカ漁に漁獲努力が向いたこと等が考えられます。

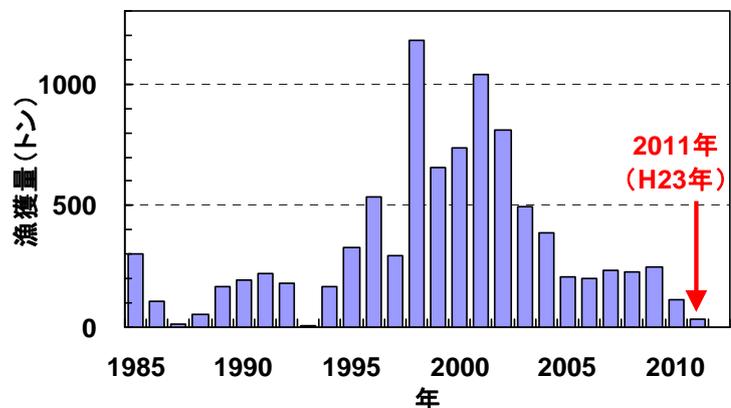


図 1 あかいか(ソデイカ)漁獲量の推移(但馬全体)

## 2 価格の推移

漁獲量が前年の 31% まで落ち込んだことから、県下全域の漁獲金額 (速報値) も、合計 3,002 万円で、**前年比約 49%** と大きく減少しました。漁獲量が少なかったことから、漁期前半に 700 円台後半であった単価 (1kg あたり) は、11 月には 860 円、12 月には 930 円に上昇しました。

## 3 漁況予報の結果 (的中したかどうか)

当センターでは、毎年 7 月に「あかいか (ソデイカ) 長期漁況予報 (予報期間: 9~11 月)」、10 月に「中短期予報 (漁況経過と漁期後半の予報)」を公表しています。しかし今漁期は、9 月の漁獲が著しく低調で予報に必要なデータを入手出来なかったことから、10 月の中短期予報を行うことができませんでした。なお、7 月に発表した長期漁況予報とその結果については以下のとおりでした。

### 【長期予報 (7 月 19 日発表)】

① **来遊水準**: 「過去 5 年平均および 10 年平均と比べて、いずれも「少なめ」で推移。「昨年に比べて、「少なめ」の漁獲が見込まれる」と予報

結果: → ○: 漁獲量は過去 5 年、10 年平均および昨年を下回りました。

② **平均漁獲量**: 「予報期間中 (9~11 月) の 1 日 1 隻あたりの漁獲量は、およそ 70~90 kg 程度となる見込み」と予報

結果: → △: 漁期前半 (9~10 月)、特に深刻な不漁であったことから、9~11 月の 1 日 1 隻あたりの漁獲量は 64 kg で、予測よりもさらに低い結果となりました。

③ **漁場**: 「山陰・若狭沖冷水域の張り出しはやや弱く、漁場は沖合域に分散する可能性がある」と予報

結果: → ○: 冷水域の張り出しはやや弱めの傾向が続いた。

**\* 今後も、より精度の高い漁況予測を発表していく予定です。引き続きご協力のほどお願いいたします。**

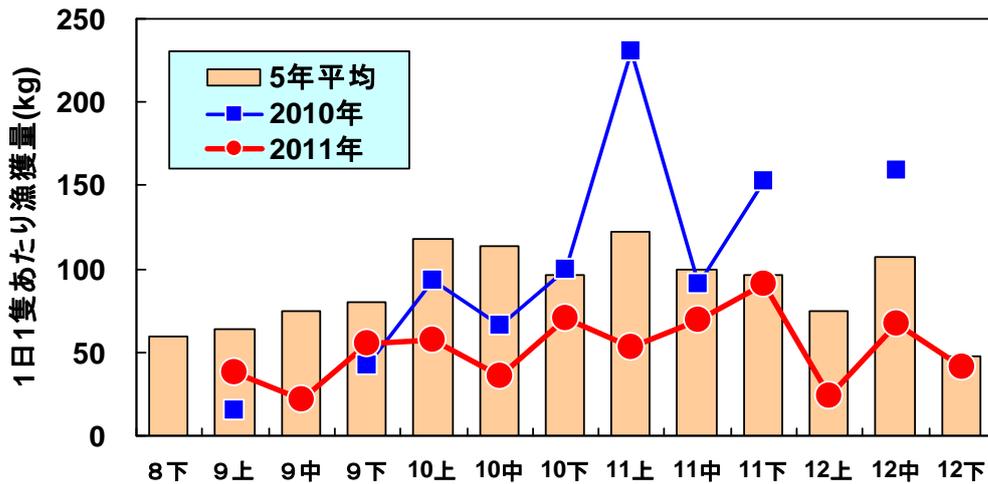


図2 来遊量指標(但馬漁協香住本所の1日1隻あたり平均漁獲量)の旬別推移

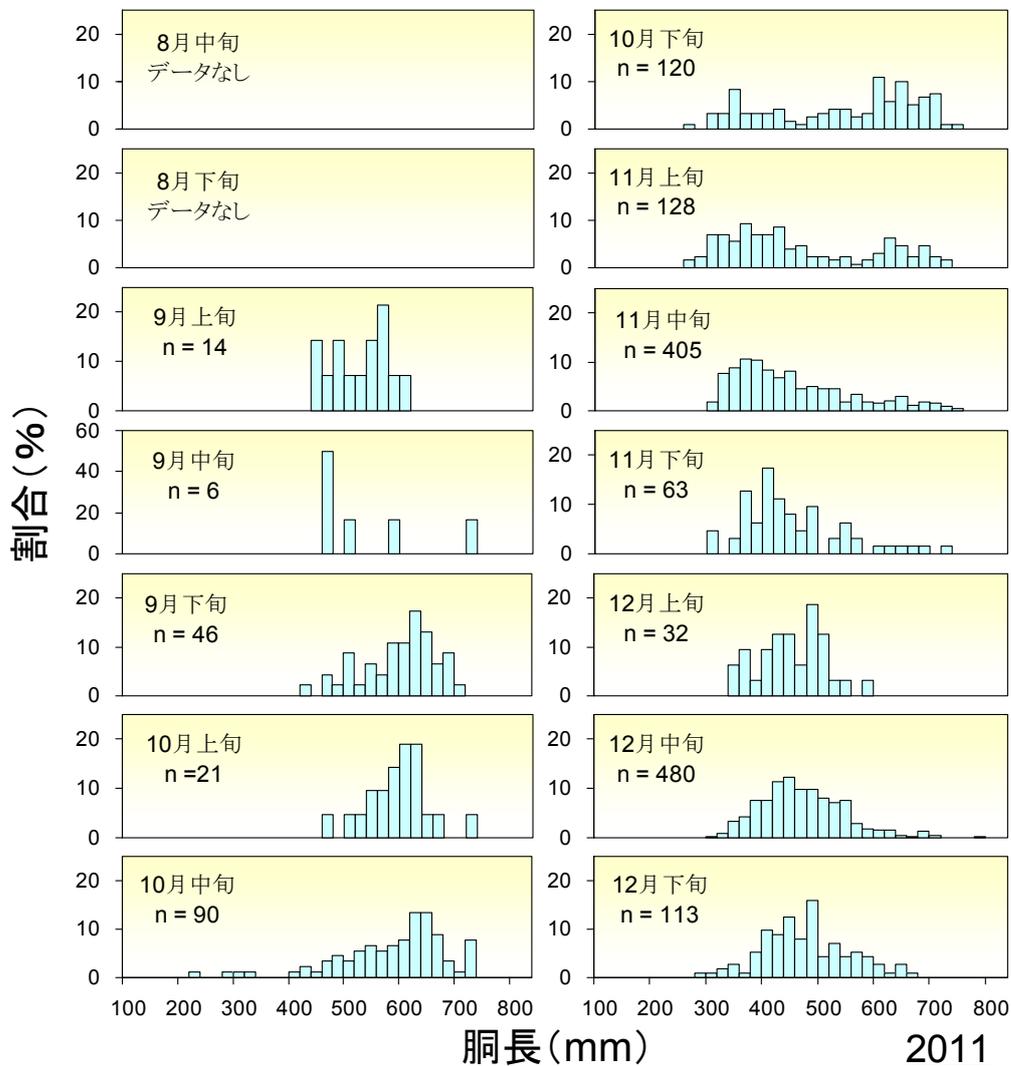


図3 JF 但馬漁協香住本所に水揚げされたあかいか(ソデイカ)の体長組成

\* nはその旬に測定したイカの数を示します。

\* なお、胴の長さを体重に換算すると、概ね次のとおりとなります。

300mm=1.0kg、400mm=2.4kg、500mm=4.7kg、600mm=8.0kg、700mm=12.7kg、800mm=19.0kg